

# まとめと提言

神戸大学 佐々木祐

- **外国人住民当事者の個別のニーズや事情をどれだけ把握し、対応できるか**

- 制度やサービスへの情報提供とアクセスの問題

- 妊娠・転入・入学などの段階で**包括的な対応**（ワンストップなど）があれば

- **外国人市民に特有の困難を集約し対応する体制の整備**

## • **言語の障壁をどのように乗り越えるか**

→外国人住民とその家庭との十分なコミュニケーション・信頼関係構築が必要

→**多言語情報サービスの提供：機械翻訳装置の配備をさらに進めるとともに、より細やかな意思疎通が可能になるような体制の整備（特に、育児・保健・教育の場において）**

## • 母語・継承語（親の母語）を学ぶ機会の重要性

→日本語能力習得のみを目的にすることの陥穽

→**学習言語の習熟**にもつながる（概念理解がより容易に）

→多文化社会における**アイデンティティの確立・自己肯定感獲得**につながる

→それぞれの母文化を理解する場を創出することも必要

→**家庭内コミュニケーション**や良好な**親子関係**のためにも必要

→**長期的な視点に立ち、子どもの言語獲得に関わる知識の共有**

## • 「学校の外」との繋がり的重要性

- 教育現場の限界：就学保障・学習保障だけでなく、**中長期的な視点に立った「進路」保障**の必要
- 「特別扱い」 / 「日本人と同じ」という図式の再検討：外国にルーツがある子どもだけに関わる問題ではなく
- 学習面だけではない教育・支援の拡充
- **様々な事情を持つ他児童生徒の支援**にもつながる

- **外国人市民・外国にルーツのある方々に、現場での強力なサポーターとして活躍していただくこと**

→多文化共生サポーター、保育補助、通訳など、そうした方々の  
つ能力・資源を発揮できる場をより拡充する必要性

→保健・教育の現場担当者だけではなかなかサポートしにくい問  
のケア・解決につながる

→**地域に不可欠な活力としての外国人市民**

## • 「つなぐ」人やしくみの必要性

- 外国人住民を疎外・孤立させない
- 貧困やコンフリクトにつながる要因を事前に察知・対処できる可能性
- 顔の見える関係だけでなく、インターネットなども含めて
- 高齢者・単身者・シングルマザー/ファーザー**にとっても必要
- 気軽に相談・懇談できるような場をより拡充・創出すること**

- ・ **外国人市民を、社会的・文化的・言語的に孤立させないこと**

- よりコミュニティの一員となってもらうことにより、地域の活性化につながる。

- 文化的に多様な、特色のあるまちづくりが可能に

- より効率的な情報（行政サービスや保健・防災など）の伝達が可能に

## • 経験やノウハウの蓄積と共有の必要性

- 現場・業務当事者間での、また部署や地域を越えて共有する機会の創出
- 問題・課題を相談できるような「窓口」の設置も
- 各現場・担当者の個別の「がんばり」に依存しないような体制の整備

- 「違い」「異質性」を認め、評価する環境の構築

- 外国人住民の有する能力・資源を発揮できる環境

- それ以外の住民にとってもより生きやすい社会に

今後の少子高齢化やさらなる多文化化・多様性の増大と  
いった社会の変化を先どりした環境を準備するチャンス

報告は以上です。

ご清聴ありがとうございました。